

2017年度第3四半期
決算補足資料

2018年2月9日

DOWAホールディングス株式会社

損益の状況

■ 連結損益計算書

単位：億円

	2016年度 実績		2017年度		比較増減			
	3Q累計	通期	3Q累計	通期見込	3Q累計		通期	
売上高	2,876	4,105	3,386	4,340	509	18%	234	6%
営業利益	206	339	232	340	26	13%	0	0%
経常利益	227	365	277	365	49	22%	0	△0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	162	261	192	260	29	18%	△ 1	△1%

※2017年度の通期見込は、本年5月9日の公表値から変更ありません。

為替、金属価格

	2016年度		2017年度			
	1Q~3Q 平均	通期 平均	1Q~3Q 平均	3Q 平均	4Q 前提	通期 平均
為替：(¥/\$)	106.6	108.4	111.7	113.0	115.0	112.5
銅：(\$/t)	4,928	5,154	6,273	6,808	5,500	6,079
亜鉛：(\$/t)	2,229	2,367	2,932	3,234	2,700	2,874
インジウム：(\$/kg)	213	207	202	239	190	199

事業環境（3Q）

➤ 廃棄物関連

国内の産業廃棄物発生量は横這い

東南アジアの受注は増加するも、高収益案件が一時的に停滞

➤ 自動車関連

国内：自動車生産台数は前年比で増加

海外：インドや東南アジアの自動車生産台数は堅調

➤ 新エネルギー・電子部品関連

新エネルギー：北米や中国において需要伸長が継続

電子部品：東アジアを中心にスマートフォン向け需要好調

➤ 為替・金属価格

為替相場：大きな変動なく、概ね113円/ドル前後で推移

金属価格：銅・亜鉛は上昇基調が継続

主要製品の動向

※2016年度1Qを100として指数化

		2016年度				2017年度		
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
環境・リサイクル	国内廃棄物中間処理量	100	104	109	102	106	96	101
	リサイクル原料集荷量 (小坂)	100	108	111	91	96	92	99
	東南アジア廃棄物処理額	100	103	111	129	120	112	111
製 錬	銅生産量 (小坂・小名浜)	100	86	83	89	85	70	60
	亜鉛生産量 (秋田)	100	72	91	99	92	73	103
電子材料	LED販売量	100	88	82	86	79	85	96
	銀粉販売量	100	101	97	95	89	105	104
金属加工	伸銅品販売量	100	104	106	104	105	101	111
熱 処 理	熱処理加工売上高	100	103	118	116	112	118	127
	工業炉売上高	100	116	109	183	104	148	119

セグメント別の損益（3Q累計）前年比

単位：億円

	2016年度3Q累計			2017年度3Q累計			比較増減		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
環境・リサイクル	688	45	46	734	39	45	46	△ 6	△ 0
製錬	1,468	46	63	1,606	71	100	138	25	37
電子材料	441	43	47	617	45	50	175	2	3
金属加工	540	49	50	667	52	54	127	2	4
熱処理	178	13	12	198	16	16	20	3	4
その他、 全社・消去	△ 439	8	6	△ 438	7	8	1	△ 1	1
計	2,876	206	227	3,386	232	277	509	26	49

経常利益の要因別分析

単位：億円

2017年度3Q – 2016年度3Q	環境・ リサイクル	製錬	電子材料	金属加工	熱処理	その他	合計
施策効果・販売増減など	△ 7	11	1	6	4	△ 1	14
うち実収差量（数量差）	—	2	—	—	—	—	2
実収差量（金属価格単価差）	—	25	—	—	—	—	25
外貨建収入為替差	—	11	3	—	—	—	14
原料条件（条件差）	—	△ 4	—	—	—	—	△ 4
払出時価簿価差・期末時価評価差	—	△ 4	—	—	—	—	△ 4
電力代ほか	—	△ 5	—	—	—	—	△ 5
減価償却費（製造原価）	0	△ 8	△ 2	△ 3	△ 1	△ 0	△ 14
営業利益増減	△ 6	25	2	2	3	△ 1	26
営業外収支の影響							
・持分法損益	0	12	0	0	0	2	15
・その他	6	△ 1	0	1	1	1	8
経常利益増減	△ 0	37	3	4	4	1	49

2017年度 連結業績の見通し

単位：億円

	2016年度 実績	2017年度 業績予想	比較増減
売上高	4,105	4,340	234
営業利益	339	340	-
経常利益	365	365	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	261	260	△ 1

- ✓ 現在のところ、当社業績は当初予想に沿って順調に推移しているため、
通期の業績予想は据え置きとしています。

前提条件・感応度（2017年度4Q）

感応度（営業利益／四半期）

単位：億円

	前提条件	変動幅	感応度
為替	115.0 円/\$	± 1 円/\$	1.1
銅	5,500 \$ /t	±100 \$ /t	0.2
亜鉛	2,700 \$ /t	±100 \$ /t	1.3
インジウム	190 \$ /kg	±100 \$ /kg	1.5

※為替感応度の内訳は、製錬0.9億円、電子材料0.2億円です。

為替、金属価格

	2016年度		2017年度			(参考) 1月平均
	1Q~3Q 平均	通期 平均	1Q~3Q 平均	4Q 前提	通期 平均	
為替：(¥/\$)	106.6	108.4	111.7	115.0	112.5	110.9
銅：(\$/t)	4,928	5,154	6,273	5,500	6,079	7,080
亜鉛：(\$/t)	2,229	2,367	2,932	2,700	2,874	3,447
インジウム：(\$/kg)	213	207	202	190	199	268

感応度については、現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の影響額は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

DOWA

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。